

2. プレス仕様

2.1 形式

駆動形式 トップドライブ
 作動形式 エキセントリックドライブ
 ポイント数 2ポイント、ブランジャガイド

2.2 能力および主要仕様

(選定機種を○で示めます。)

選定機種	○											
	E2P300-2				E2P400-2				E2P500-2			
諸元	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL
加圧能力 (ton)	300				400				500			
能力発生位置 (下死点上mm)	10				13				11			
ストローク長さ (mm)	450				500				500			
ストローク数 (spm)												
	変速 15~25				15~25				15~25			
最大作業ストローク数 (断続) (spm)	16				15				13			
ダイハイト (mm)	650	840	650	840	840	1100	840	1100	840	1100	840	1100
スライド調節量 (mm)	200	350	200	350	250	400	250	400	250	400	250	400
ホルスタ寸法 (左右×前後×厚さ)	2,000×1,300×180		2,500×1,300×180		2,500×1,300×190		3,000×1,300×190		2,500×1,300×200		3,000×1,300×200	
スライド寸法 (左右×前後)	2,000×1,200		2,500×1,200		2,500×1,200		3,000×1,200		2,500×1,200		3,000×1,200	
アブライト間寸法 (有効)	2,140 (2,000)		2,640 (2,500)		2,640 (2,500)		3,140 (3,000)		2,640 (2,500)		3,140 (3,000)	
サイドオープニング寸法 (有効)	1,240 (1,000)				1,240 (1,000)				1,240 (1,000)			
バランス能力 (ton)	2.5		3.2		4.0		4.8		4.0		4.8	
※2 客先工場空気圧 (増圧) (kg/cm ²)	5 (8)				5 (8)				5 (8)			
メインモータ (kW)												
	変速 VS 37 VS 45				VS 45				VS 55			
スライドアジャストモータ (kW)	3.7				3.7				5.5			
仕事量 (T-m/at.spm)	※3 断続 7.0 /at 16spm				7.0/at 15spm				10/at 13spm			
	連続 4.3 /at 15~25spm				4.3/at 15~25spm				6/at 15~25spm			

(注)

- ※2: 客先工場空気圧 (5kg/cm²) を増圧 (8kg/cm²) してバランス及びダイクッション (オプション) 等に使用します。その他は客先工場空気圧 (5kg/cm²) のまま使用します。(保証値 5kg/cm²)
- ※3: 最高スライドストローク数時の仕事量を示します。

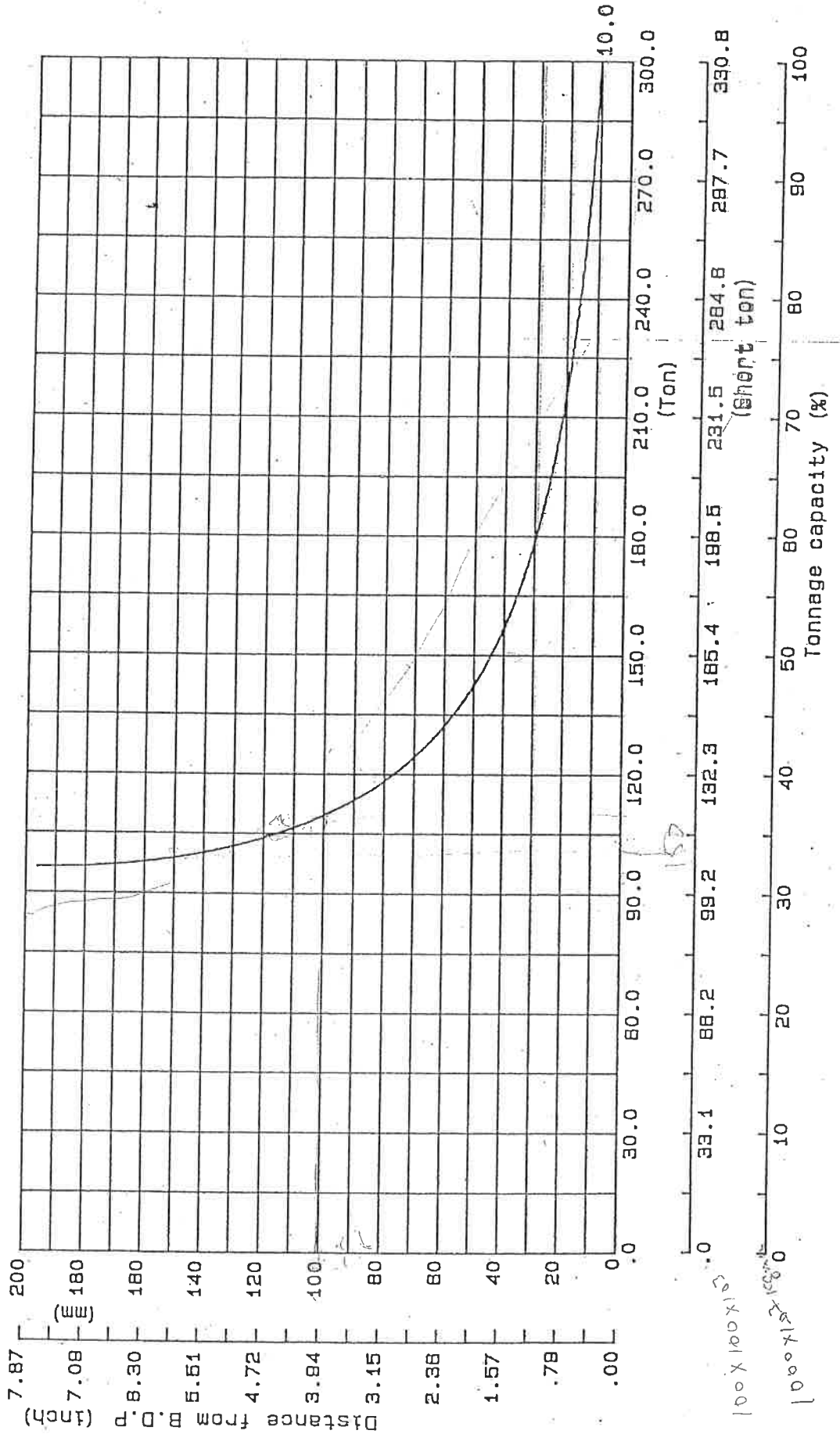
SPECIFICATIONS

LIMIT ON WORKING CAPACITY

A202-1

Allowable stroke capacity curve

E2P-300-450-25



$100 \times 100 \times 10^3$

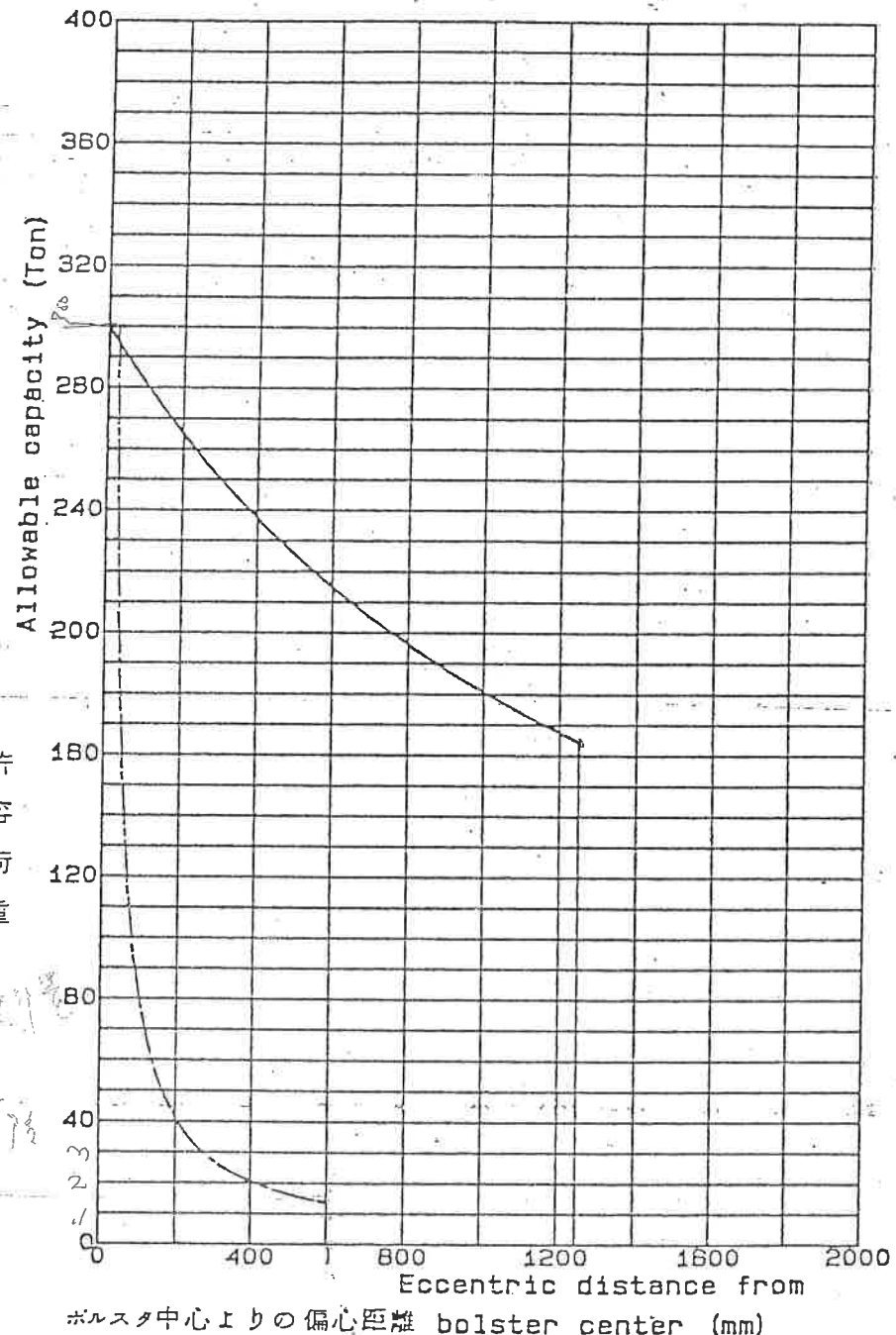
$100 \times 10^3 \times 10^3$

仕様書
SPECIFICATIONS

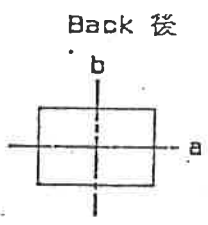
作業能力の限界
LIMIT ON WORKING CAPACITY

A202-2

図 A - 2 許容偏心能力曲線
Fig. A - 2 Allowable eccentric loading capacity curve
E2P300-2



左右方向
R-L
前後方向
F-B



E2p-2

許容荷重

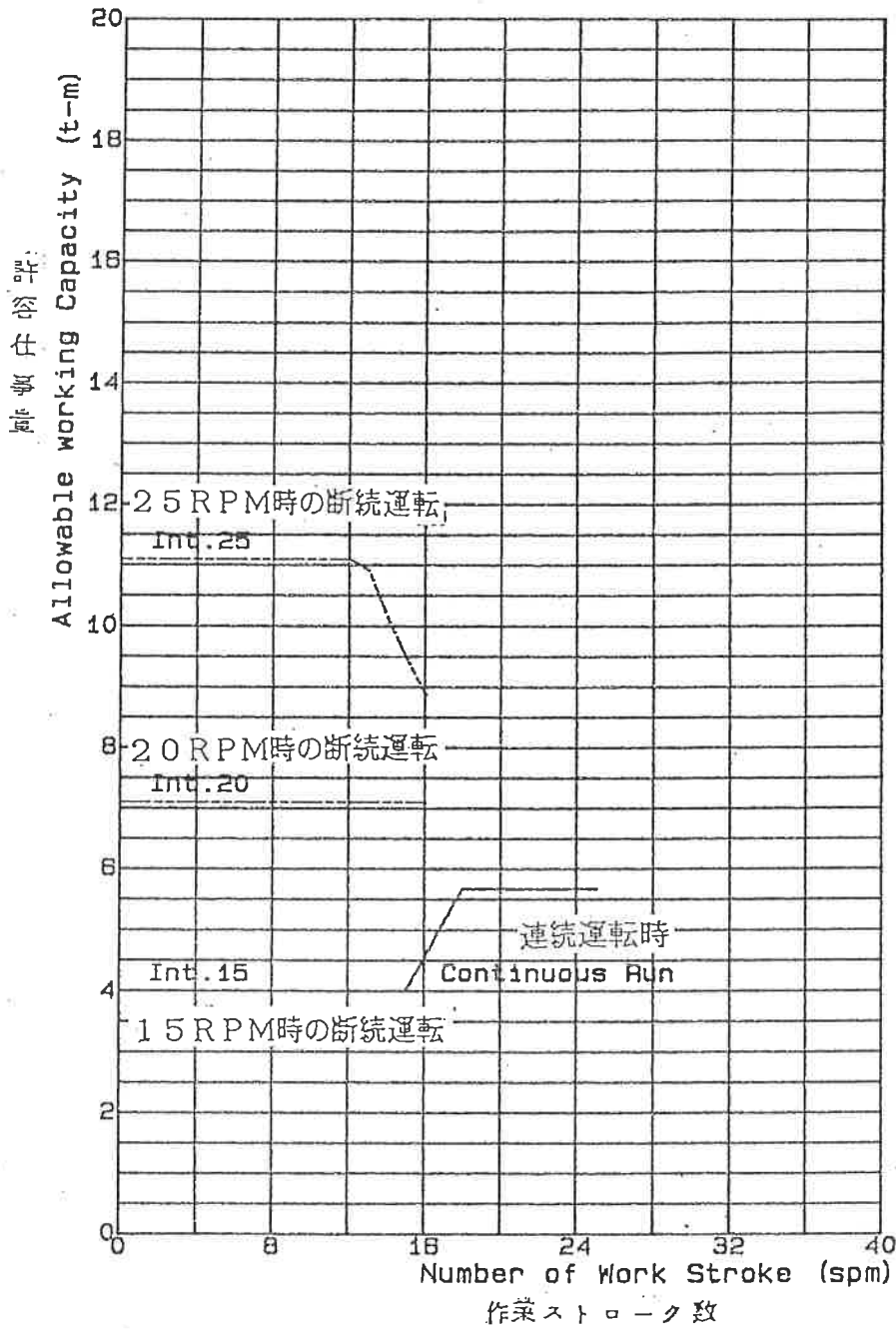
Handwritten notes and arrows pointing to the F-B curve.

- Note :
- Above curves "R-L" and "F-B" are available for the loads on the center-lines "a" and "b" respectively.
 - Above curves are made from a viewpoint of mechanical strength of the machine, and the accuracies (especially the parallelism between lower surface of the slide and upper surface of the bolster) are not taken into account. Therefore, please take care in using the curves.

下記許容偏心能力曲線は、偏心量に対して直角方向の偏心量を0として求めたものです。また、許容偏心能力はプレスオーバーロードおよび強度により求めたものですから、精度(特に平行度)は考慮してありません。能力曲線による使用に際しては、十分なる検討を行なって下さい。

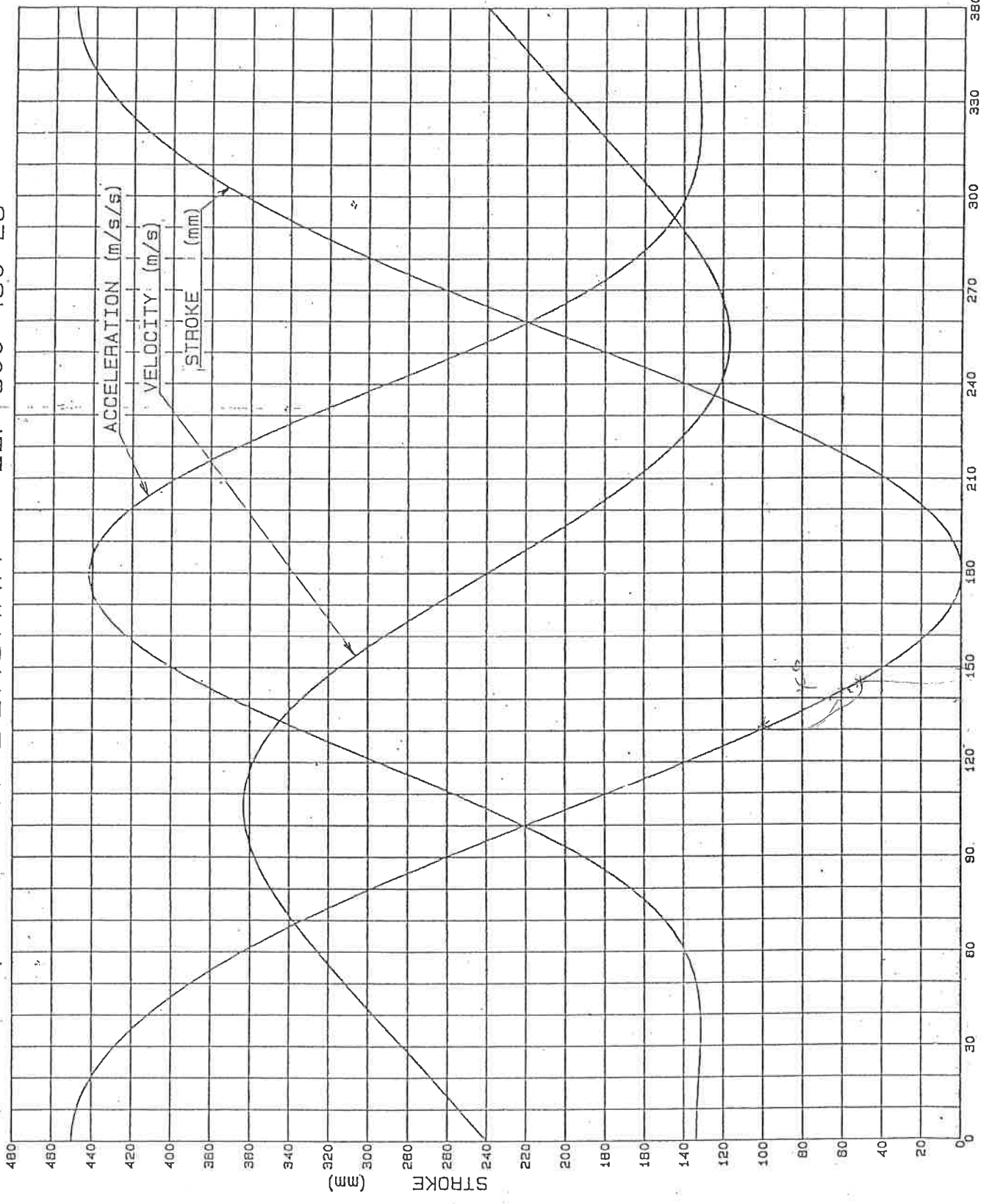
13
12

許容仕事量白線
Fig. A - 3 Allowable Work Load Capacity
E2P300-2



Note: "Int.15" shows "Intermittent Run at 15 spm"

MOTION DIAGRAM E2P-300-450-25



CRANK ANGLE

装 置 編	1. ダイクッション (オプション)	B 101-1
-------	--------------------	---------

1. 仕 様 ヘビーデューティタイプ (シリンダ式, ガイドライナ式付)

装 着 機	能 力 (ton)		ストローク長さ (mm)
	1パッド2シリンダ方式	2パッド2シリンダ方式	
E2P 300	48 TON	24 ton × 2	220
油 量	33 l	23 l × 2	

油 種 モービル D T E オイルライト相当品 FBK R032

2. ダイクッション能力の調整

ダイクッション能力の調整は、左前の空油圧パネル内のエアレギュレーティングバルブにより行ないます。

ダイクッションシリンダエア圧力と、ダイクッション能力との関係はネームプレートに示すとおりです。エアレギュレーティングバルブにより圧力を高める場合は問題ありませんが、低下させる場合には、ストップバルブを締め、エアレギュレーティングバルブをゆるめておき、エア逃しバルブを開いてエアタンク内の圧力を所要の圧力以下に低下させた後、エア逃しバルブをふたたび閉じ、ストップバルブを開いてエアレギュレーティングバルブにより徐々に所要圧力まで上げて下さい。

3. パッド引下げ (オプション)

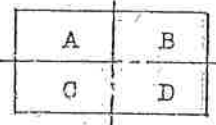
ダイクッションを使用しない時、あるいはストローク調整 (付属している場合) や油補給などのためパッドを最下端まで引下げたいときは、ダイクッションシリンダ内およびエアタンク内のエアをエア逃しバルブにより放出します。

ラムパッキンの増締め直後などで、パッキンの摩擦が大きい場合はパッドが順調に下降しないことがありますがこの場合は、プレスを寸動操作にしてプレッシャピンを介してパッドに動きを与えてやればなおります。

4. ダイクッション使用上の注意

ダイクッション装置を長期にわたり、支障なく使用して頂くために、必ず下記項目に従って下さい。

○ダイクッションピンの必要最小本数



(a) ダイクッションパッドを図のように A, B, C, D のブロックに分けた時、各ブロックに必ず、クッションピンが入るようピン配置を考慮下さい。

パッド平面図

(b) 金型寸法が小さい場合等で、全ブロックにクッションピンを配置できない時は、使用できないブロックに捨てピンを用いて、(a)項の条件を満たして下さい。